

年末年始で感染者・クラスターを生まないために

スポーツ活動、クリスマス、お正月、成人式などでの感染予防に注意喚起の取り組みを

コロナ感染拡大が第3波となり、感染者の広がりが止まりません。幸い、各地スポーツ連盟、種目組織の感染防止の取り組みでは、第2波、第3波の状況でも感染者、クラスターを発生させることなく、現在に至っています。大変な心労をとめないながらの取り組み、お疲れ様でした。

感染拡大は日ごとに重症者が増え、それに伴い医療崩壊が始まっているとの見方も出ている状況で、12月21日には急遽、国や都知事、医療団体、専門家が記者会見を行い、「命が第一です」と危機感を表に出した感染拡大を防ぐための対応への協力が呼びかけられました。

感染拡大の防止のためには、“全世代にメッセージが届いていない”という状況を変えることが必要とも言われてきました。今、スポーツ連盟でも感染防止の取り組みのメッセージを届けることが求められています。

これからクリスマス、お正月、成人式など、多くの人が動く季節を迎えます。スポーツ連盟も、卓球やテニス、野球、サッカー、バドミントン、ランニングなどの行事を感染防止対策に工夫をしながら取り組んできました。これからはさらに、スキーシーズンともなり年末年始スキーや新春マラソンなどの行事が予定されています。

こうした中で、都道府県連盟と所属の種目組織、全国種目組織と所属組織・クラブの会員への『感染を防ぐための可能な限りの取り組み』を、のメッセージを届ける取り組みを行いましょう。

同時に、感染が確認された場合の対応についても意思統一し、適切な対応になるよう以下の2点について取り組みを要請いたします。

<取り組み要請>

- 1、運営役員間で、スポーツ活動における感染防止ガイドライン、対応内容の確認などを行い、改めて注意喚起をしましょう。
- 2、すべての都道府県連盟、全国種目組織で、全会員に向けて、感染防止の取り組みへの協力メッセージを発信することに取り組みましょう。

*スポーツ行事の中で陽性者が確認された場合には、「別紙 感染対応マニュアル」などを参照し、関係者と協力して取り組みましょう。

今後、緊急事態宣言の発出、イベントの自粛要請、都道府県をまたぐ移動の制限などがなされる状況となれば、「感染対策本部」として改めて要請も考えられますので都道府県連盟、全国種目組織のみなさんのご協力をお願いいたします。

2020年12月22日

新日本スポーツ連盟 感染症対策本部